

高コスト のLNG拡大

Bangladeshにおける
外国企業のLNG事業が、
いかに気候変動を引き起こすか



ধরিত্রী রক্ষায় আমরা (ধরা)
DHORITRI ROKHHAY
AMRA (DHORA)



要旨

Bangladeshは、環境を汚染する高価な天然ガスの輸入に過度に依存するようになったことで、停電が繰り返し起き、エネルギー危機に直面しています。

不安定な化石燃料の国際市場への依存を減らして国内のクリーンな再生可能エネルギーを優先させるのではなく、 Bangladeshは、液化天然ガス（LNG）の拡大を推し進めるよう外国の利害関係者から圧力を受けています。

マーケット・フォースの調査の結果、 BangladeshではLNG火力発電所を41カ所新設する計画があり、その発電容量は計37.4ギガワット（GW）になることが分かりました。国内の既存の全発電容量を上回る規模です。これらの計画を後押しするために、LNG輸入ターミナルの新設が7カ所提案されています。

LNGを重視した「統合エネルギー・電力マスタープラン」を策定したのは、日本の政府機関である国際協力機構（JICA）と、エネルギーシンクタンクの日本エネルギー経済研究所（IEEJ）です。 Bangladeshで計画されているLNG発電プロジェクトの半数以上に日本企業が関与しています。米国企業も大きな役割を果たしています。

提案されている大幅なLNG拡大を行えば、経済、環境、健康、社会の面で Bangladeshの住民に多大な負担を強いることになるでしょう。

計画されているLNGプロジェクトのコストは500億米ドルと推計されます。LNG火力発電所の建設に360億米ドル、LNG輸入施設の建設にさらに140億米ドルがかかるという計算です。

2041年までに、 Bangladeshが直面するLNG輸入の負担とコストはさらに高まり、年間70億～110億米ドルに達すると見られますが、これは現在すべての化石燃料の輸入にかかっているコストの2～3倍に相当します。

チョットグラムで提案されているLNG火力発電所は、操業期間中に二酸化炭素換算で13億トン（tCO₂-e）の温室効果ガスを排出すると予想され、これは Bangladeshの現在の年間排出量の6倍に相当します。提案されているインフラの多くは、緑豊かなチョットグラム管区で計画されています。影響を受けやすい自然環境や動物に害を及ぼし、農業や漁業を営む多くの人々の生計手段を奪い、地元の観光産業に壊滅的な打撃を与える恐れがあります。

US \$ 500億

Bangladeshで計画されているLNGプロジェクトのコスト

13億トン

チョットグラムで提案されているLNG火力発電所の推定の生涯二酸化炭素排出量

こうしたLNG開発とそれに伴う環境負荷は、アジアゾウ、ウンピョウ、うろこのあるアライグマのようなミミセンザンコウなど、地元の森林に生息する**少なくとも26種の絶滅危惧種を脅かしています**。

GEベルノバが支援する**同様のLNG開発事業**で、土地の奪取や周辺コミュニティの収入源となっている地域環境の破壊など**様々な権利侵害が発生したことを受け、女性や地元住民の人権**に対する懸念が高まっています。

LNG火力発電所を新設すれば、**呼吸器系の健康を害する有害物質も排出され、 Bangladesh は大気汚染が世界一ひどい国として不動の地位を築くことになる**でしょう。

別の道があるはずですが。Bangladesh のLNG火力発電計画を実現するには360億米ドルの設備投資が必要ですが、**この資金を使えば、発電容量62GWのクリーンな再生可能エネルギー発電施設を新設することもできます**。これだけの容量があれば、同国の既存の天然ガス発電設備のほとんどを置き換えるのに十分であり、石炭火力の発電容量の4倍に相当する量でもあります。誤解を招く言説もよく見られますが、Bangladesh には再生可能エネルギーの莫大な可能性があり、**最大で240GWの太陽光発電と30GWの陸上風力発電を設置できるのです**。

Bangladesh は、環境を汚染する高価な輸入LNGではなく、国内の再生可能エネルギーを推し進めるべきです。外国企業の利益になるように策定されたエネルギー計画を実行するものではありません。再生可能エネルギーで発電する未来をBangladesh でつくれたなら、年間何十億ドルもの燃料コストが節約され、生計手段が守られ、健康状態が改善し、エネルギー安全保障が確保されるでしょう。





ধরিত্রী রক্ষায় আমরা (ধরা)
DHORITRI ROKHHAY
AMRA (DHORA)

